

# そのとき中曽根康弘は何を思ったか



元首相中曽根康弘氏が11月29日お亡くなりになりました。享年101歳  
大正7年5月27日長野県生まれ。東京大学法学部卒業後に内務省へ入省、太平洋戦争では海軍に所属し主計少佐として終戦を迎える。終戦後内務省に帰任、その後退官し衆議院議員に立候補、昭和22年初当選  
日本原子力政策の推進に奔走、第71代～第73代内閣総理大臣。身長は178cmと高く、歴代の内閣総理大臣では大隈重信の公称180cmに次ぐ第2位の長身。（小泉元首相169cm安倍首相175cm）  
内閣総理大臣時代には、国鉄民営化の実施、日米安全保障体制の強化に尽力。  
小泉政権の時に自民党内のいわゆる比例区73歳定年制が始まり、22回の当選で終わる。  
同じ大正7年生まれの名士には田中角栄、高山威一郎、高峰秀子、いwasakiひろ、近江敏郎などがいる  
今回は中曽根元首相を追悼し、著作等をご紹介します。

タイトルコード：1000010471704

天地有情 五十年の戦後政治を語る 文芸春秋 中曽根 康弘／著

出版年：1996.9 請求記号：312.1/㌱/

政治家は歴史の法廷の被告である。日記と当時の極秘資料をまじえ、半世紀にわたって、新保守主義と自由民主主義を信条として、共産主義、社会主義と戦い続けてきた政治家の回想録。

タイトルコード：1000010524872

対論改憲・護憲 中曽根 康弘／著 朝日新聞社

出版年：1997.9 請求記号：323.1//

「憲法九条の第二項以下は改正すべき」「九条は変える必要はない」改憲・護憲の理論的支柱として知られる両元首相が、初めて憲法について本音で語り尽くした。憲法見直し論や政界再編の行方を見直す一冊。

タイトルコード：1000010484987

政治と哲学 日本人の新たな使命を求めて 中曽根 康弘／著 PHP研究所

出版年：1996.12 請求記号：304/㌱/

21世紀が間近に迫っている。その時日本人が歩むべき道は？日本の伝統と根源、資本主義及び日本国の新たな在り方、宇宙と人間の本質などを、二人が縦横無尽に論じる対談集。

タイトルコード：1000410061254

自省録 歴史法廷の被告として 中曽根 康弘／[著] 新潮社

出版年：2004.6 請求記号：312.1/㌱/

「総理の一念は狂気であり、首相の権力は魔性である。私はすべてを書き遺した」元首相・中曽根康弘が全てを語る。



タイトルコード：1000010789344

海図のない航海 石油危機と通産省 中曽根 康弘／著 日本経済新聞社

出版年：1975 請求記号：330//

洗剤がない！紙がない！国民経済の崩壊感覚の中で苦悩する通産省・・・。  
大臣室で危機乗り切りの指揮を執った筆者が、はじめて明かすオイルショックの裏面史。

タイトルコード：1000010564852

日本人に言っておきたいこと 21世紀を生きる君たちへ 中曽根 康弘／著 PHP研究所

出版年：1998.6 請求記号：304/カ/

伝統に基づく日本国の礎が崩れつつある今、我々は何を支えに21世紀に行くべきか。政治、経済、社会、福祉、外交および安全保障、教育等の各部門において、現在の課題を指摘し、進むべき方向を探る。

タイトルコード：1000010487955

リーダーの条件 中曽根 康弘／著 扶桑社

出版年：1997.1 請求記号：310//

これからの企業経営・政治に必要なリーダーの資質とは？無関心世代を熱くさせることができるリーダー像とは？現代日本を憂い、日本再建を切望する著者が、真のリーダーシップを語る。

タイトルコード：1000010102274

波濤を越えて 二十一世紀をひらく文化と政治 中曽根 康弘／著 政策科学研究所

出版年：1986.4 請求記号：312.1/カ/

自らの国、日本を知らないで文化も国際化も論ぜられない。このような諸点に関心を持ちつつ、私の年来の主張や願いを込めて行った講演の集成である。